

NPO 法人まちの寄り合い所うめばたけ 通常総会

4・23・2016

次第

- 開会挨拶、議長選出
- 第1号議案 2015年度活動報告
- 第2号議案 2015年度決算報告
- 第3号議案 監査結果報告
- 第4号議案 2016年度活動計画（案）
- 第5号議案 2016年度予算計画（案）
- 第6号議案 役員改選（案）
- 第7号議案 その他
- 閉会

はじめに：

震災後 5 年が経過し、NPO まちの寄り合い所・うめばたけも設立 4 年目、石巻地域全体が復旧・復興の状態から新しいまちづくりへと進んでいるように、うめばたけも新たな姿に生まれ変わろうとしています。設立以来、会員皆さんの意欲的な参加と、全国の方々からの資金、物資、助言、など数多くの支援を頂き、今日まで活動を継続してこられたことに心から感謝いたします。

昨年の総会でもお知らせしましたが、うめばたけの敷地・建物を縦断する形で都市計画道路「七窪蛇田線」が建設される（平成 30 年度末までに完成予定）ことになり、この建設道路の一方の端である南中里側では既に着工されました。しかし、もう一方の端である田道町側では収用される土地や、立退きしなければならない建物の評価作業が現在進行中で、補償価格交渉もお盆明けになるのではと言われ、工事全体が当初の計画より半年ぐらい遅れている状況です。従って、うめばたけの移設計画は、現在のハウスに変わる新規建物の建築の場所や資金などの確定後に、市民協いのまきハウスのオーナーである市民協とも相談しながら策定することになります。

一方、うめばたけの理事と関連団体代表で構成された「新しいうめばたけを考える会」が近隣 3 町内の住民を対象にアンケート調査を行ったところ、今後もうめばたけの活動を継続してほしいとの声が多く寄せられ、また、自治体、社協、まちづくり協議会、NPO 団体などのヒアリングからも同様の要望がなされています。

この機会に、改めて平成 24 年 2 月作成の設立趣旨書（下記）を見ると、未だ道半ばであることが明確になり、今後とも思いを同じにする方々と一緒に活動を続けていきたいと強く思います。

会員皆様のなお一層のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

代表理事 伊藤 壽朗

設立趣旨書（平成 24 年 2 月 25 日）

趣旨

高齢者・障がい者が家に閉じこもることなく互いに交流し、生活を楽しみ、生きがいにつなげることのできる場を目指し、平成 12 年、自宅の空地にプレハブ（24 m²）を建て「街の寄り合い所・うめばたけ」をスタートしました。以来、パソコン教室、英会話教室、朗読教室、麻雀教室、図書室の設置等を通じて近隣の人々や外国人と交流し、お互いの得意技やスキルを教えあったり、パソコンや麻雀を習得したり、英語の歌や朗読、福祉施設での読み聞かせなどの活動を続けてきました。また、無農薬・無化学肥料で育てた自家野菜を朝市で販売したり、近隣小中学校のプール清掃や用水路の浄化等の活動にも参加しています。寄り合い所としてのコミュニティ・カフェの運営実験も行いました。平成 23 年 3 月の震災後は、通院、役所の手続き、入浴、買い物などに一人では行けない人々（移動困難者）を支援している県外からの団体に対し、事務所や駐車場の提供などの支援を行っています。

震災から 10 カ月を経過して、復興のためには一人ひとりの善意や得意技では対応できる限界が見えてきており、個人や関連団体がそれぞれの専門分野の知識・経験を結びつけたり、活動を継続するために協力し合うネットワークが必要とされています。さらには、被災者の自立支援、就労支援などの分野においても、自助と相互助け合いのレベルを高めることが不可欠となっています。

このような状況を踏まえ、特定非営利団体を設立し、これまでの地道で個別な活動に加え、他のボランティア・グループや NPO とネットワークを組んで協力し合い、石巻市の復興と市民の生きがいづくりの為に寄与します。

設立に至るまでの経緯（省略）